

令和4年度第1回熊本大学認定再生医療等委員会議事要録

日 時 令和4年12月26日(月) 9:58~10:13
場 所 熊本大学病院管理棟3階第三会議室
出席者 松岡委員(委員長)、西中村委員(副委員長)、香月委員、小野委員、宮下委員、
大脇委員、福山委員、田口委員、上岡委員、松崎委員、岩原委員
欠席者 なし
事務局 高木経営戦略課係長、米岡経営戦略課事務補佐員、小手川経営戦略課事務補佐員

I. 確認事項

議事に先立ち、委員会規則第7条に基づき、互選により松岡委員が委員長となり、西中村委員が副委員長に指名された。

続いて、本日は委員会の成立要件を満たしている旨、確認があった。

その後、事務局から議題及び資料について確認があった。

II. 議題

1. 第三種再生医療等提供計画の定期報告について

[再生医療等の名称] 多血小板血漿(多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療)

(計画番号: PC7150012)

[申請診療科の名称] 熊本大学病院 皮膚科

[実施責任者] 福島 聡 (皮膚科 科長)

[説明者] 実施担当者: 梶原 一亨 (皮膚科 助教)

[他、参加者] なし

※審査書類受取日: 令和4年11月7日

委員長から資料1・2に基づき、議題概要について説明があった。

引き続き、説明者から本議題について説明があり、ヒアリングを行った。

【質疑応答・指摘事項等】

- 改善とは、完全に良くなったのか。(委員)
→ 潰瘍が上皮化して、閉じた。(説明者)
- 治癒か。(委員)
→ 治癒である。(説明者)
- 複数箇所か。(委員)
→ 2箇所あって、いずれも治癒した。(説明者)
- 部位はどこか。(委員)

→ 右手の第2指の先端である。(説明者)

○ 診断名はなにか。(委員)

→ 強皮症に伴う潰瘍である。(説明者)

○ 併用薬はあるか。(委員)

→ ボセンタンという抗エンドセリン拮抗薬を服用していたが、難治だったため、この再生医療等を行っている。(説明者)

その後、委員による審議が行われ、安全性及び科学的妥当性を踏まえて確認を行った結果、全会一致により委員会の意見を次のとおりとすることが了承された。

【審議結果】

本議題について、適切と認める。

III. その他

委員長から、次回の開催については、令和5年12月頃を予定しており、日程照会等は別途、通知する旨連絡があった。

以上

<配付資料>

資料1 再生医療等提供状況定期報告書(2021年11月5日～2022年11月4日)

資料2 再生医療等提供計画

参考資料1 委員名簿

参考資料2 熊本大学認定再生医療等委員会規則